

第7章 街づくり 第3節 道路

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
計画道路整備課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	本路線は市街地を外郭する外環状道路であるため、全線開通により交通渋滞の緩和に大きく寄与する事業であることから重点的に整備を進めており、小手指陸橋北交差点から北中公園西側の市道3-575号線までの延長260mについて、平成29年4月に供用開始した。また、県が整備を進めている都市計画道路東京狭山線、都市計画道路飯能所沢線と接続する路線であり、この2路線は東京都の都市計画道路と繋がる計画となっている。	H28年度に改善した点	有	有		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	302,707	240,030	①用地取得率	交通渋滞緩和 市道3-5号線、及び主要地方道川越所沢線(美原町3-2944-2前)に観測点を設定。当該都市計画道路開通により、交通量1割削減を達成する。	北野下富線(1工区)と松葉道北岩岡線の同時開通により交通渋滞の緩和を図るもので左記箇所に観測点を設置して、年1回・7月の第1水曜日(朝)午前7時30分～8時30分、(夕)午後5時30分～6時30分に測定する。				道路築造工事にあたり、電柱の移設や上水道、下水道、都市ガスの埋設を行うことから、当該で工事スケジュールを策定して、関係機関と調整を行った。				
	根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②工事着手率	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析			未開通のため。未整備区間の事業化開始のために、今後も継続的に用地取得と道路建設を進めていくことで、早期の供用開始、全線開通を目指すものである。			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
	事業の目的及び具体的な内容	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	③	H28年度目標	H28実績	H29目標値が未達成の理由・分析			早期の全線開通を目指し、引き続き用地取得と道路建設を進める。また、整備効果を高めるため、社会経済状況や財政事情等に応じて、事業期間や総事業費の見直しを行うものである。				
	期間	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	①1工区84%、2工区100% 3工区89%、(仮称)4工区77%	H29年度目標	H29実績	評価者							
H6年度～	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	②1工区0%、2工区100% 3工区0%、(仮称)4工区0%	開通後1割削減	開通後1割削減	計画道路整備課長 村上 和雄								
計画道路整備課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	本路線は総延長1,430mのうち延長700mの区間が供用している。一部の区間は電線共同溝により無電柱化及び電線類の地中化を行い、平成26年度の歩道整備により完成している。今後、駒形交差点から都市計画道路飯能所沢線までの区間の整備完了により更なる交通の円滑化を目指す。	H28年度に改善した点	有	有		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0	0	①	安全性・利便性向上のための都市計画道路の築造・整備率 (交通の円滑化や安全性、都市防災機能の向上に有効な都市計画道路の整備完成状況を、事業費の割合により示す。)	所沢駅西口周辺道路の快適な交通確保のため、歩道のバリアフリー化や景観・防災性の向上を目的とした無電柱化及び電線類の地中化の実施により交通渋滞の緩和を図る。				県施工区間の整備を促進するため、地元への事業説明を行い、また、関係機関との協議等を実施した。				
	根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
	事業の目的及び具体的な内容	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	③	H28年度目標	H28実績	H29目標値が未達成の理由・分析			北野下富線及び松葉道北岩岡線の進捗状況や県施工区間の進捗状況を勘案しながら、鉄道の立体交差を含む道路予備設計、平面交差設計、交通量調査等を行い事業費及び期間を算定して平成31年度には事業認可を取得、早期完成を目指す。				
	期間	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	①	H29年度目標	H29実績	評価者							
H13年度～	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	②	総事業費7,000,000千円	6,928千円	計画道路整備課長 村上 和雄								
計画道路整備課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	主要地方道川越所沢線北所沢町交差点から北野下富線までの延長736mについて、北野下富線の延長470mの区間(1工区)と併せて道路築造事業を実施している。生活道路への通過交通の流入を防ぎ、交通渋滞緩和と周辺住民の安全確保のため、重点的に整備を進めるものである。	H28年度に改善した点	有	有		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	68,668	67,853	①用地取得率	交通渋滞緩和 市道3-5号線、及び主要地方道川越所沢線(美原町3-2944-2前)に観測点を設定。当該都市計画道路開通により、交通量1割削減を達成する。	北野下富線(1工区)と松葉道北岩岡線の同時開通により交通渋滞の緩和を図るもので左記箇所に観測点を設置して、年1回・7月の第1水曜日(朝)午前7時30分～8時30分、(夕)午後5時30分～6時30分に測定する。				本路線の工事中、車の流れを振り替える必要があるため、接続する市道3-5号線の延長140mの区間について、歩道整備工事を実施した。また、建設発生土の再資源化を図るため、工事間流用を行った。				
	根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②工事着手率	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
	事業の目的及び具体的な内容	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	③	H28年度目標	H28実績	H29目標値が未達成の理由・分析			未取得の用地を取得し、雨水管の布設及び道路築造工事を施工する。交通渋滞の緩和、道路利用者の安全の確保を図るため早期の供用開始を目指す。				
	期間	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	①91%	H29年度目標	H29実績	評価者							
H16年度～H30年度	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	②75%	開通後1割削減	開通後1割削減	計画道路整備課長 村上 和雄								
道路建設課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を毎年達成している。	H28年度に改善した点	有	有		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	217,836	139,564	①改良整備工事件数	単年度改良整備工事実施件数	予算配分に基づき、路線の優先順位を考慮して工事実施件数(目標)を決定する。				優先整備計画を策定した。 (次年度より事業に反映する。)				
	根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②改良整備延長	H27年度目標	H27実績	H28目標値が未達成の理由・分析			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
	事業の目的及び具体的な内容	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	③	H28年度目標	H28実績	H29目標値が未達成の理由・分析			道路改良事業については、複数年度にわたって行う事業が多いため、優先整備計画に基づき整備路線を選択し進めて行く。				
	期間	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	①3件	H29年度目標	H29実績	評価者							
昭25年～	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	②406.8m	開通後1割削減	開通後1割削減	道路建設課長 加藤 孝雄								

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費		成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響				
			会計	投入コスト(千円)	活動実績(H28)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの			
道路建設課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を毎年達成している。	H28年度に改善した点	有	有		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	180,680	173,617	①後退用地寄付面積	生活道路後退用地取得率	過去3年の後退用地寄付延長の平均の1割増(m)								
	生活道路整備事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②後退用地寄付件数		H27年度目標	H27実績						H28目標値が未達成の理由・分析	
		所沢市生活道路拡幅整備要綱	156,000	147,387	③	H28年度目標									H28実績
		事業の具体的な内容及び目的	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H29年度目標									
	期間	平成8年～	市道に接する敷地で建築行為等を行う際、道路中心から2.1mの後退用地の協力を得て、その後退用地の舗装整備を行うものである。また、緊急対策として、市民からの情報等をもとに危険箇所において待避所などの整備を行う。	3.30人	非常勤特別職	①1921.14㎡	4,000m	4,061m						目標達成済	
			28,578千円	臨時職員	②135件	H28年度目標	H28実績								
			3.10人	非常勤特別職	③	H29年度目標									
			26,583千円	臨時職員		3,365m									
道路建設課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	計画通りに用地買収が完了し、平成29年度から工事を開始できる。	H28年度に改善した点	有	有		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	130,067	121,850	①用地買収	一工区整備実施延長	一工区の当市整備予定延長460mを当面の目標値とした。								
	市道4-1366号線(上藤沢・林・宮寺間新設道路)整備事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②修正設計		H27年度目標	H27実績						H28目標値が未達成の理由・分析	
		道路法・土地収用法	107,100	103,981	③保全工事	H28年度目標									H28実績
		事業の具体的な内容及び目的	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H29年度目標									
	期間	平成21年度～	三ヶ島地区の交通の利便性の向上、地域の活性化及び安心・安全な歩行空間を確保するため、上藤沢・林・宮寺間を結ぶ新設道路の整備を行うものである。本路線については、入間市との共同事業により実施しており、一工区約740mのうち、入間市境から市内林地地区へ至る所沢市分約460mの道路整備を行うものである。	1.75人	非常勤特別職	①3124.35㎡(用地進捗率100%)	460m	0m						成果指標については整備の実施率としており、平成28年度は用地買収のみのため整備率は0となっている。	
			15,155千円	臨時職員	②平成29年3月10日完了	460m	0m								
			2.52人	非常勤特別職	③平成28年12月26日完了	H29年度目標									
			21,609千円	臨時職員		460m									
道路建設課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	当初の計画通り、現況測量と概略設計業務が終了した。	H28年度に改善した点	有	有		
	最優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加			①市道2-572号線路線測量	平成28年度市道2-572号線：現況測量・概略設計 平成29年度市道2-572号線：道路・護岸詳細設計・用地測量 市道2-561号線：路線測量・道路概略設計 市道2-996号線：路線測量・道路概略設計・松郷橋人道橋設置予備照査	COOL JAPAN FOREST構想事業の全体像が流動的なため、事業内容が確定できないため、単年度取組目標とする。								
	COOL JAPAN FOREST周辺道路整備事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②市道2-572号線概略設計		H27年度目標	H27実績						H28目標値が未達成の理由・分析	
		道路法、河川法、土地収用法	17,294	16,956	③東川護岸予備設計	H28年度目標									H28実績
		事業の具体的な内容及び目的	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	実績	H29年度目標									
	期間	平成28年～	「(仮称)ところざわサクラタウン」を拠点施設とし、そこを中心とした半径約500m圏内に重点推進エリアとして位置付けられた「COOL JAPAN FOREST」周辺における交通環境整備を行うことによって、交通の円滑化を進めて行くものである。なお平成28年度までは市道2-572号線の拡幅や交差点改良を実施するものであったが、旧コンポストセンター跡地の利用についても方向性ができたことから、事業対象範囲を拡大した。	0千円	臨時職員	①0.33km平成29年3月30日完了	0.33km	0.33km						市道2-572号線路線測量・概略設計	
			0.52人	非常勤特別職	②0.33km平成29年3月30日完了	東川護岸工事									
			4,459千円	臨時職員	③300m平成29年3月30日完了										
建設総務課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	国土調査完了区域において、座標値をもった道路境界確定図の整備が着実に進められている。	H28年度に改善した点	有	有		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	2,668	2,430	①単年度確定面積	国土調査完了区域における確定測量実施面積	国土調査完了区域において、座標値をもった道路境界確定図の整備を早期に進めるため、確定測量実施面積を指標とする。目標値は、当該年度に行うべき確定測量の対象面積。								
	道水路座標管理図面作成事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②確定測量累計面積		H27年度目標	H27実績						H28目標値が未達成の理由・分析	
		道路法・道路法施行規則・所沢市公共測量作業規程	2,800	2,592	実績	H28年度目標									H28実績
		事業の目的及び具体的な内容	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	① 0.07km ²	H29年度目標									
	期間	昭和53年度～	【目的】座標値をもった復元可能な道路図面を整備することにより、生活道路の後退、拡幅、舗装工事、災害時の復元など、道路整備に反映させる。【内容】国土調査が完了した区域において、都市基準点を用いた道路の境界点測量を実施し、座標値をもった道水路の確定図面を整備する。	0.90人	非常勤特別職	② 32.82km ²	0.08	0.07						目標達成済	
			7,794千円	臨時職員		0.07	0.07								
			0.90人	非常勤特別職		H29年度目標									
			7,718千円	臨時職員		0.07									

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響			
			会計	投入コスト(千円)		活動実績(H28)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの		
道路維持課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	今後も都市景観を維持する必要があることから現状維持したい。	H28年度に改善した点	有	有		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	1,288	1,288	①撤去委託	違法路上広告物総撤去枚数	良好な都市景観の維持及び向上を図るため道路上の違反広告物を撤去することから撤去枚数を指標とする。	H28年度に改善した点							
	路上違反広告物除却事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②撤去推進員						実績			H28目標値が未達成の理由・分析	道路パトロール等により除却する広告物が減ったため。
		屋外広告物法、埼玉県屋外広告物条例、所沢市違反簡易広告物除却員設置要綱	1,307	1,307	H27年度目標	H27実績	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み								
		事業の具体的な内容及び目的	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	H28年度目標	H28実績		都市景観を維持するためにも継続して撤去を行う。							
		月1回年12回の除去作業を業者に委託するほかに違反簡易広告物除去推進員制度により違反広告物を撤去し、良好な都市景観の維持及び向上を図ることを目的とする。	1.10人	0.00人	H29年度目標	H29実績									
期間	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	H27年度目標	H27実績	評価者	道路維持課長 片岡秀樹									
H10～	1.25人	0.00人	H28年度目標	H28実績											
	10,719千円	0.00人	H29年度目標	H29実績											
道路維持課	実施計画ランク	事業の種類	H27予算現額	H27決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	これまでの定期点検をもとに修繕計画をたて、優先順位をつけ修繕を行っていきたい。	H28年度に改善した点	無	無		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	18,817	17,539	①橋りょう修繕設計	修繕した橋りょう数	橋の安全の確保を目的とするため、点検により、すみやかな補修等が必要な橋りょうの修繕を指標とする。	点検箇所数を増やすことにより補修が必要な橋りょうの把握ができた。							
	橋りょう長寿命化修繕事業	根拠法令	H28予算現額	H28決算額(見込み)	②橋りょう修繕						実績			H28目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み
		道路法、道路構造令、所沢市道路の構造の技術的基準等を定める条例、所沢市移動円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定める条例	40,666	28,991	③橋りょう法定定期点検	H27年度目標	H27実績	全ての橋りょう点検を行っていく中で老朽化が著しい構造物を一度に修繕を行っていくことが出来ない状況で維持管理について見直していく必要がある。							
		事業の具体的な内容及び目的	H27正規職員人件費	H27その他職員従事割合	H28年度目標	H28実績									
		風雨等による長年の劣化に対して定期的な点検を実施し、その結果から補修・補強等の維持管理を行うとともに地震等の災害に対する安全性を確保する。橋りょう長寿命化修繕計画に基づき必要な修繕を計画的に進めることで橋りょうを延命化し、維持管理費用の縮減を図る。	1.85人	0.00人	H29年度目標	H29実績	評価者	道路維持課長 片岡秀樹							
期間	H28正規職員人件費	H28その他職員従事割合	H27年度目標	H27実績											
H25～	1.80人	0.00人	H28年度目標	H28実績											
	15,435千円	0.00人	H29年度目標	H29実績											